

事業評価シート【新規事業-1】

事業名	障害福祉サービス施設・事業所等職員慰労金給付事業			基本計画	章	2	総合戦略	基本目標	
事業コード					節	3,4		施策の方向	
課係名	障害福祉課	内線			項	1		施策	
担当者氏名			職名		細項目			整理番号	

事業概要	障害福祉サービス施設・事業所等に勤務する職員に対して、国からの慰労金5万円とは別に、地方創生臨時交付金を活用して、1人当たり2万円の慰労金を給付する。
------	---

現在の課題や市民要望など	障害福祉サービス施設・事業所の職員は、障害者児の食事・入浴・排せつ等の日常生活を介護するという、濃厚接触を避けることが難しい中で業務に従事している。障害福祉サービス利用者は、感染した場合に重症化の危険性が高いため、今後も引き続き最大限の感染症対策を継続的に実施しながらサービス提供に努めていく必要がある。
--------------	--

事業目的	① 慰労金の給付することで、障害福祉サービス施設・事業所等の職員を慰労するとともに、感染拡大防止意識の維持・高揚に繋げる。 ② ③ ④
------	--

個別取組	① 障害福祉サービス施設・事業所等の職員に慰労金を給付 ③	② ④
------	----------------------------------	--------

事業による改善・変更点	① 障害福祉サービス施設・事業所等の職員の感染防止意識の維持・高揚により、感染拡大防止に寄与する。 ③	② ④
-------------	--	--------

事業対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人・世帯 <input type="checkbox"/> 団体(民間) <input type="checkbox"/> 団体(公共) <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他 ()
------	--

内容	① 市内障害福祉サービス施設・事業所の職員 ③	② ④
----	----------------------------	--------

業務形態	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 負担金・交付金 <input type="checkbox"/> その他 ()
------	--

内容	① 障害福祉サービス施設・事業所等職員慰労金 ③	② ④
----	-----------------------------	--------

支出根拠	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 法令要綱等名称 ① ② ③ ④
------	--

事業継続	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度:無期 <input type="checkbox"/> 複数年度:有期[始期 ~ 終期]	後年度負担 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
------	---	--

事業費の積算	年度	・障害福祉サービス施設・事業所等職員慰労金 20,000円×870人= 17,400,000円 ・郵便料 120円×60通×4回= 28,800円 ・消耗品(封筒) 1,750円×1箱(250枚)×1.10=1,925円	事業費	17,430,725	事務スケジュール	年月	内容
			国 県	17,430,725			国の慰労金(実施主体県)
			市 債				の基準に準じて行うため、
			その他				県の給付要綱が示され次
			一般財源	0			第着手
			事業費				給付要綱制定
			国 県				事業所に申請(取りまとめ)
			市 債				を依頼
			その他				申請書類の審査
			一般財源	0			慰労金の給付

経費節減効果	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	節減効果の内容
金額	千円	

主要指標	指標の種類		計算方法	目標(推計)値		
	名称			年度	年度	年度
	■ 活動指標	①				
		②				
	■ 成果指標	①				
②						

事業評価シート【新規事業-2】

項目別評価	1. 実施主体・目的の妥当性		<ul style="list-style-type: none"> ・自治体が関与すべき事業か。民間で実施できないか。 ・総合計画における目的に合致するか。課題解決に結びつくのか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 妥当である B. 改善する余地がある C. 妥当ではない	新型コロナウイルスの感染リスクにさらされる中、障害者児が安心して日常生活を過ごすため必要な障害福祉サービスを、継続的かつ安定的に提供するために、業務に従事している職員に対して給付するものであり、市町村が実施主体となることは妥当である。
	2. 事業の有効性		<ul style="list-style-type: none"> ・意図した成果は確実に得られるか。 ・類似の目的を持つ事業はないか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 有効である B. 改善の余地がある C. 有効ではない	国からの慰労金に加えて、市から慰労金が給付されることにより、障害福祉サービス施設・事業所等の職員の感染拡大防止意識の維持・高揚に繋がり、感染拡大防止に寄与する。障害福祉サービス施設・事業所等の職員に対する施策は他にない。
	3. 事業の効率性		<ul style="list-style-type: none"> ・成果を維持したまま費用を削減する余地はあるのか。 ・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 効率的である B. 改善の余地がある C. 効率的ではない	現金給付という性質上、給付額の多寡に伴い、事業効果は増減すると思われる。なお、今回限りの単発事業と考えており、将来的にコストが増加する要因はない。
	4. 緊急性		<ul style="list-style-type: none"> ・今実施しなければならない理由。 ・実施しない場合の問題点。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. すぐに実施する必要有 B. 2~3年後に実施する必要有 C. すぐに実施する必要はない	障害福祉サービス施設・事業所等の職員においては、新型コロナウイルス発生後の早い段階から感染拡大防止の取り組みが求められ、既に長期間にわたり緊張した環境下で業務に当たっていることから、早急に事業を実施する必要がある。
5. 市民要望・公平性		<ul style="list-style-type: none"> ・どういう市民要望があるのか。 ・受益者負担は適正か。 ・公平性の点から受益の偏り(特定の地域や個人等)はないか。 	
評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)	
B	A. 多くの市民要望有 B. 一部地域・団体等の要望有 C. 要望はない	障害福祉サービス施設・事業所等の職員に限定した給付事業ではあるが、障害者(児)やその家族の生活を支え、障害者(児)の日常生活を営む上で必要不可欠な存在であることから、市民にも理解は得られるものと考えられる。	
6. 同規模他市・周辺市町村の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの自治体で実施、同規模以上の自治体は実施、ほとんど実施していないが先進的な取り組みであるなど、具体的に記述 	
他団体で実施されている事業は、事業所向けの施策が多く、同規模他市や周辺市町村では同様な事業は実施されていない。 松戸市 事業所等を運営する法人が、障害福祉サービス提供に従事する職員へ慰労金や特別手当等を支給する経費の補助(1事業所20万円) 多古町 感染症予防対策を行っている町内の障害福祉事業者へ経費の一部を支援(定員50人以上 40万円 定員50人未満 10万円)			

総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性	
	評価	◎評価理由
	A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない 障害福祉サービスの安定供給に繋がる、福祉施設・事業所職員の意欲向上に資する事業であり、事業実施は妥当であると認められる。
	■政策調整会議による評価	
	評価	◎評価理由
■庁議による方針		
評価	具体的な方向性	
A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない 担当課の提案どおり実施するものとする。 ただし、医療従事者に対する同事業の実施を条件とする。	